

4 - 9 伊豆諸島の地殻変動

Crustal Movements in the Izu Islands

国土地理院
Geographical Survey Institute

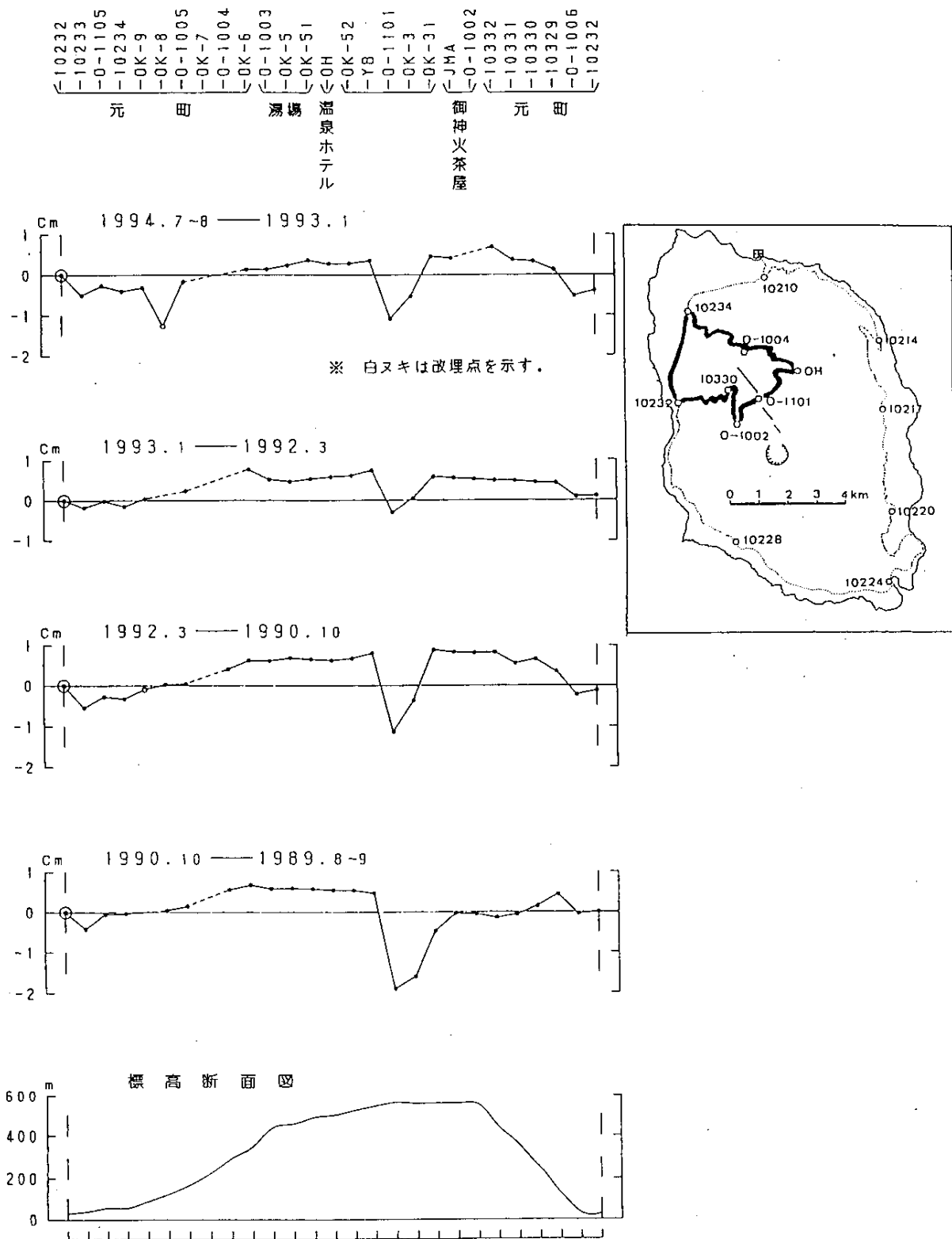
第1図～第2図は、伊豆大島登山路線沿いの上下変動である。1986年噴火時に形成されたB、C火口列を結ぶ線上にあるO-1101とOK-3の2点が沈降を続けており、1987年からの積算で10cmを越える。これらの両側の各点は隆起を続けているが、最近1年間は、隆起量が小さい。第3図は、岡田と周辺験潮場間の月平均潮位差である。岡田の変動は、1900年後半にゆっくりと隆起した後、停滞している。

第4図は、三宅島・神津島・南伊豆各験潮場間の月平均潮位差である。三宅島、神津島が1900年頃から隆起しているように見える。しかし、これらの験潮場は黒潮の影響を直接受けていることもあり、今後GPS連続観測のデータとも合わせて検討したい。

第5図～第7図は、南関東・東海GPS連続観測のデータの内、大島及び新島周辺の各点間の基線長及び比高である。基線長、比高ともに、顕著な変化は見られない。

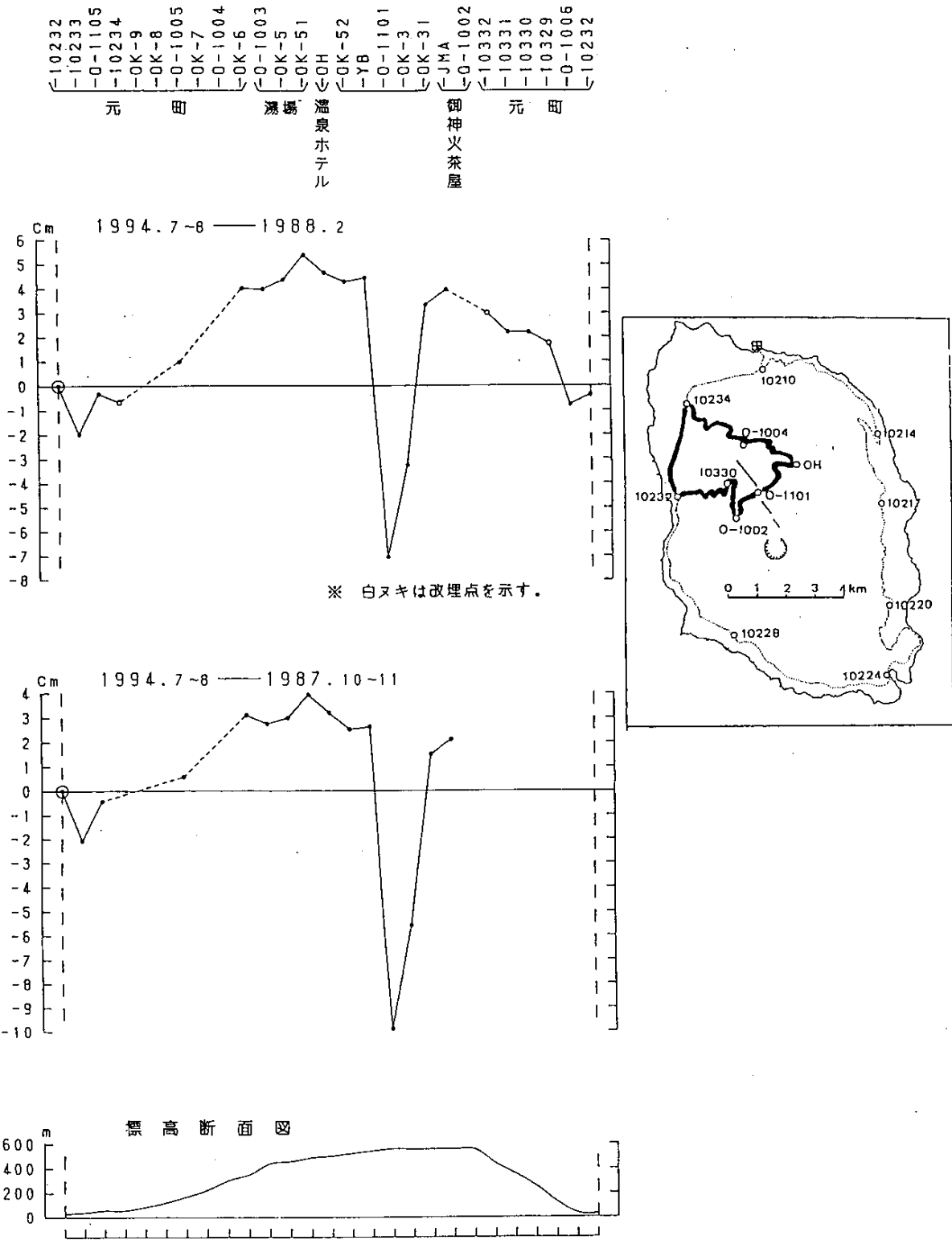
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：伊豆大島の地殻変動，連絡会報，43（1900），266-270．
- 2) 国土地理院：伊豆大島及び三宅島の地殻変動，連絡会報，46（1991），220-224．
- 3) 国土地理院：関東地方の地殻変動，連絡会報，49（1993），163-168．
- 4) 国土地理院：伊豆大島の上下変動，連絡会報，50（1993），311-315．
- 5) 国土地理院：伊豆大島の地殻変動，連絡会報，51（1994），401-403．
- 6) 国土地理院：伊豆諸島の地殻変動，連絡会報，52（1994），258-271．



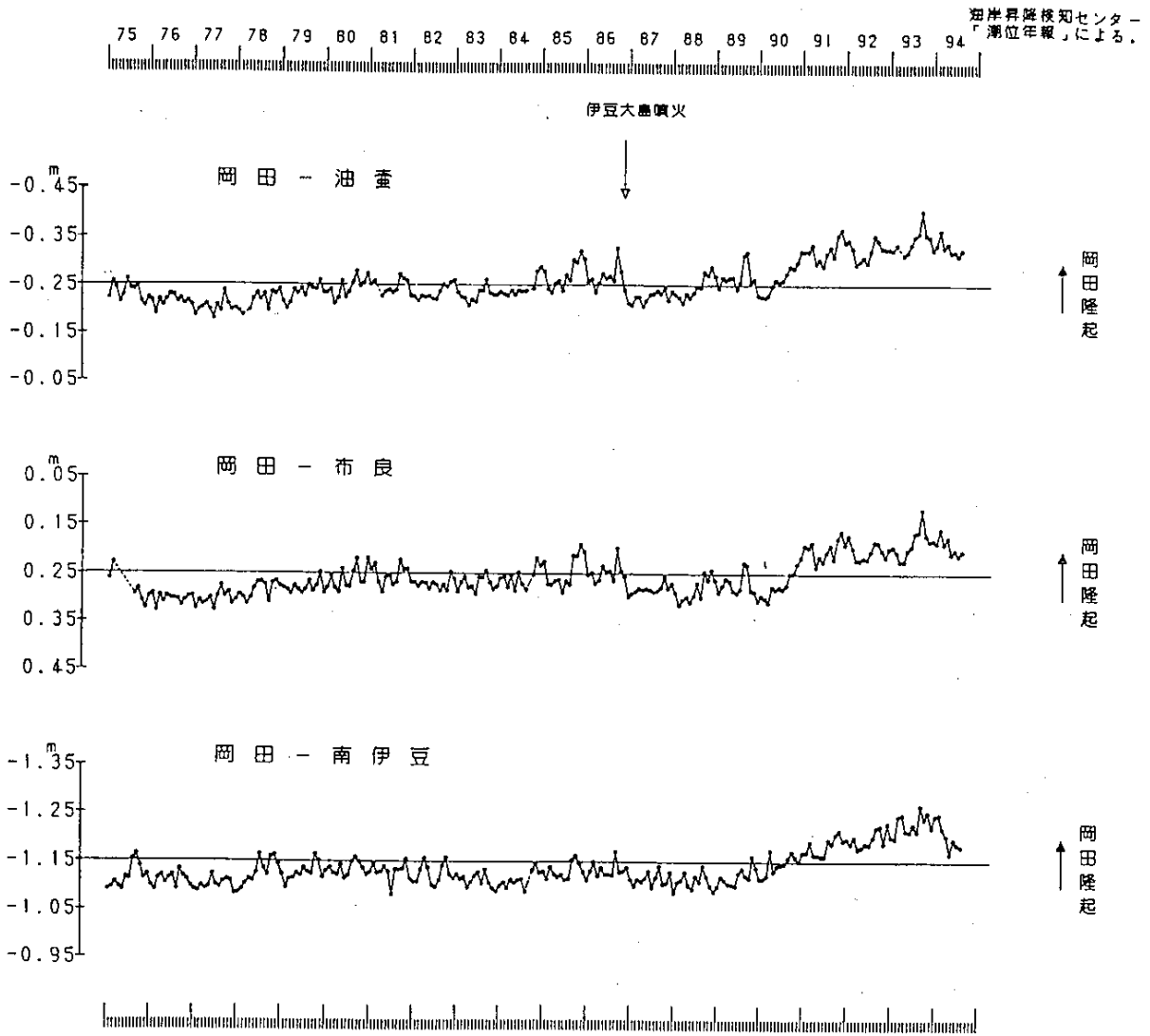
第1図 伊豆大島の上下変動(1): 三原山登山路線沿いの測量毎の変動

Fig.1 Vertical movements in Izu Oshima(1): Movements between every survey along the Miharayama route.

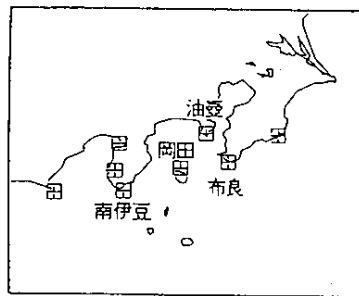


第2図 伊豆大島の上下変動(2): 三原山登山路線沿いの積算の変動

Fig. 2 Vertical movements in Izu Oshima (2) : Cumulative movements along the Miharayama route.



94年 10月の潮位データは、
テレメータによる31日までの
平均値を使用した。

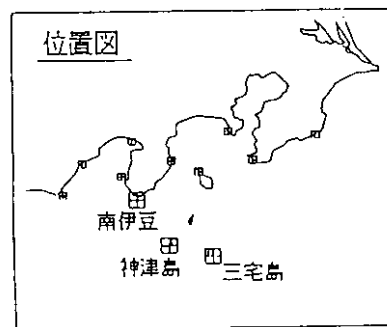
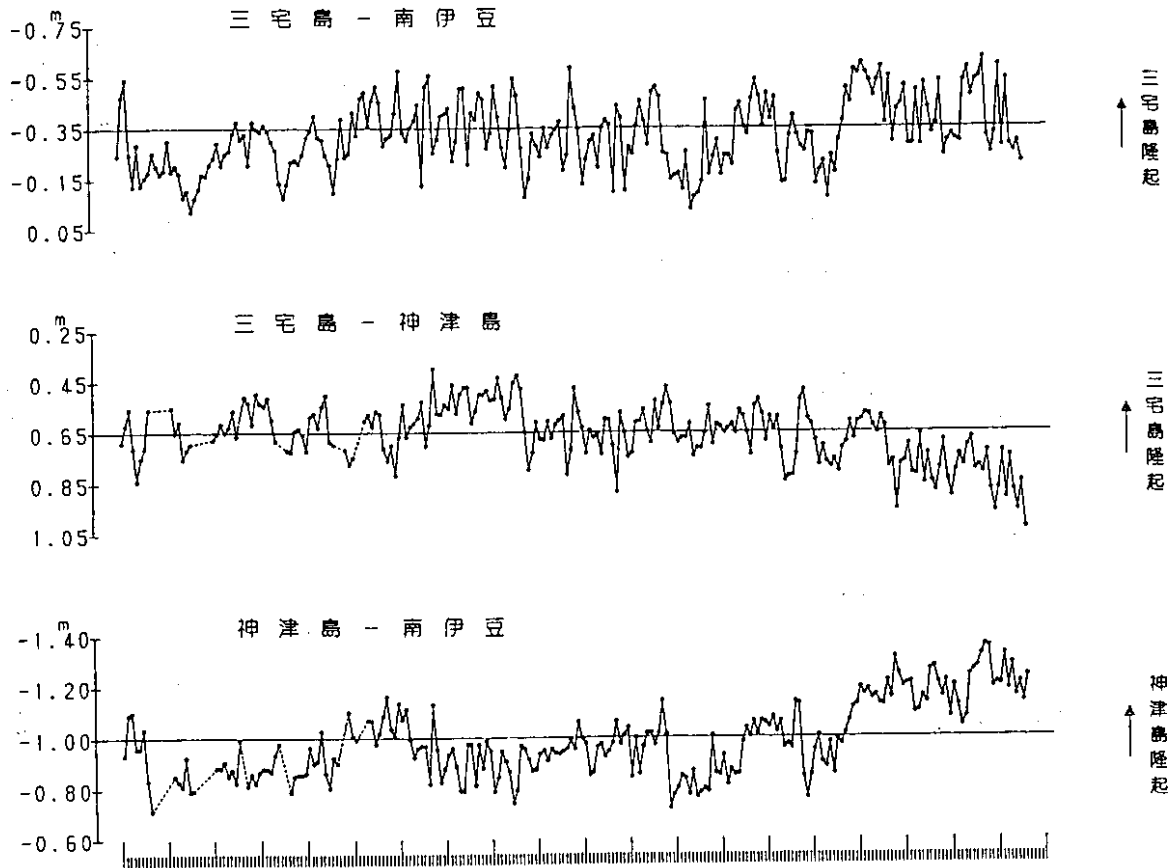


第3図 岡田・油壺・布良・南伊豆各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 3 Differences in monthly mean sea levels between Okada, Aburatsubo, Mera and Minami-Izu tide stations.

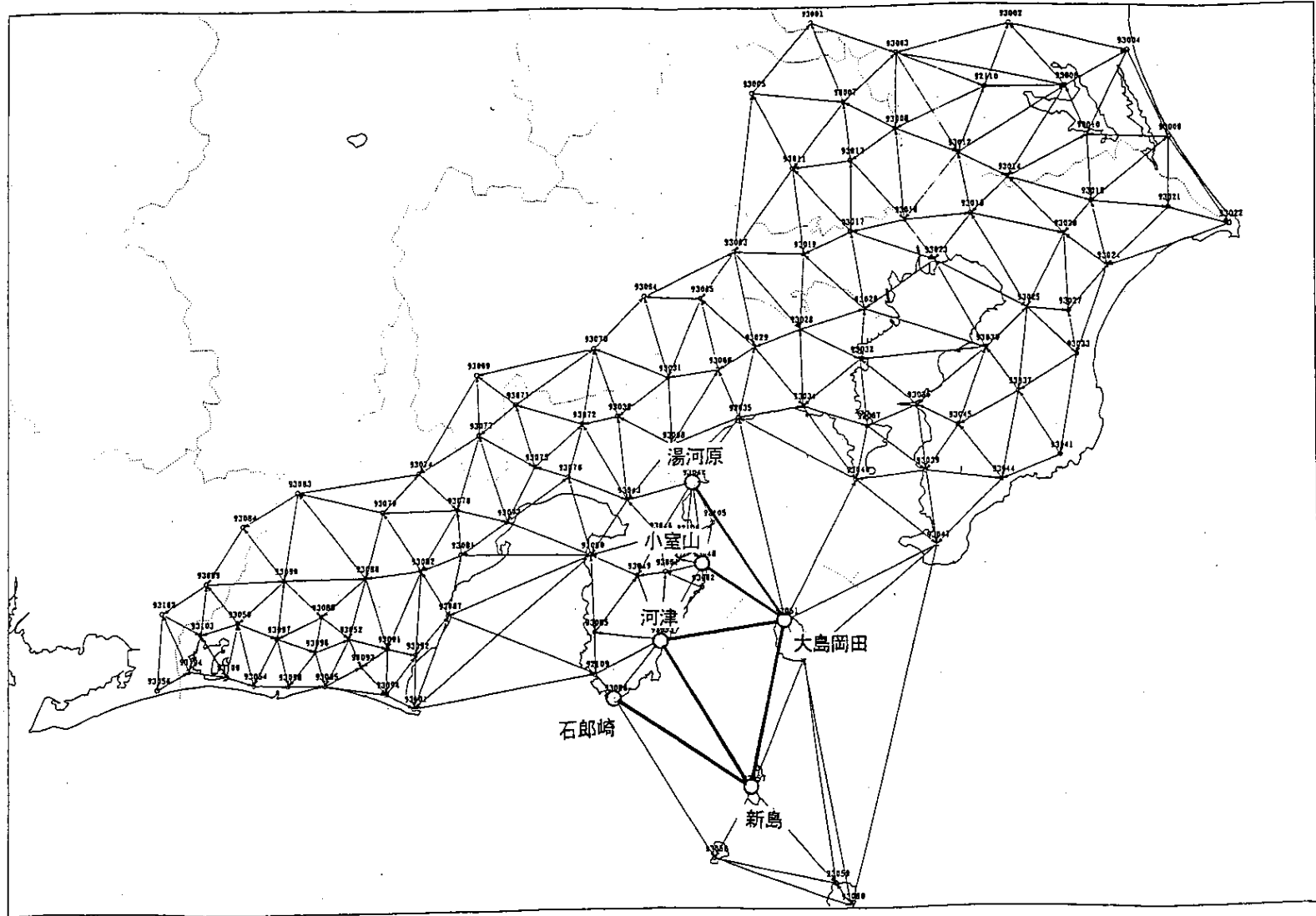
海岸昇降検知センター
「潮位年報」による。

75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94



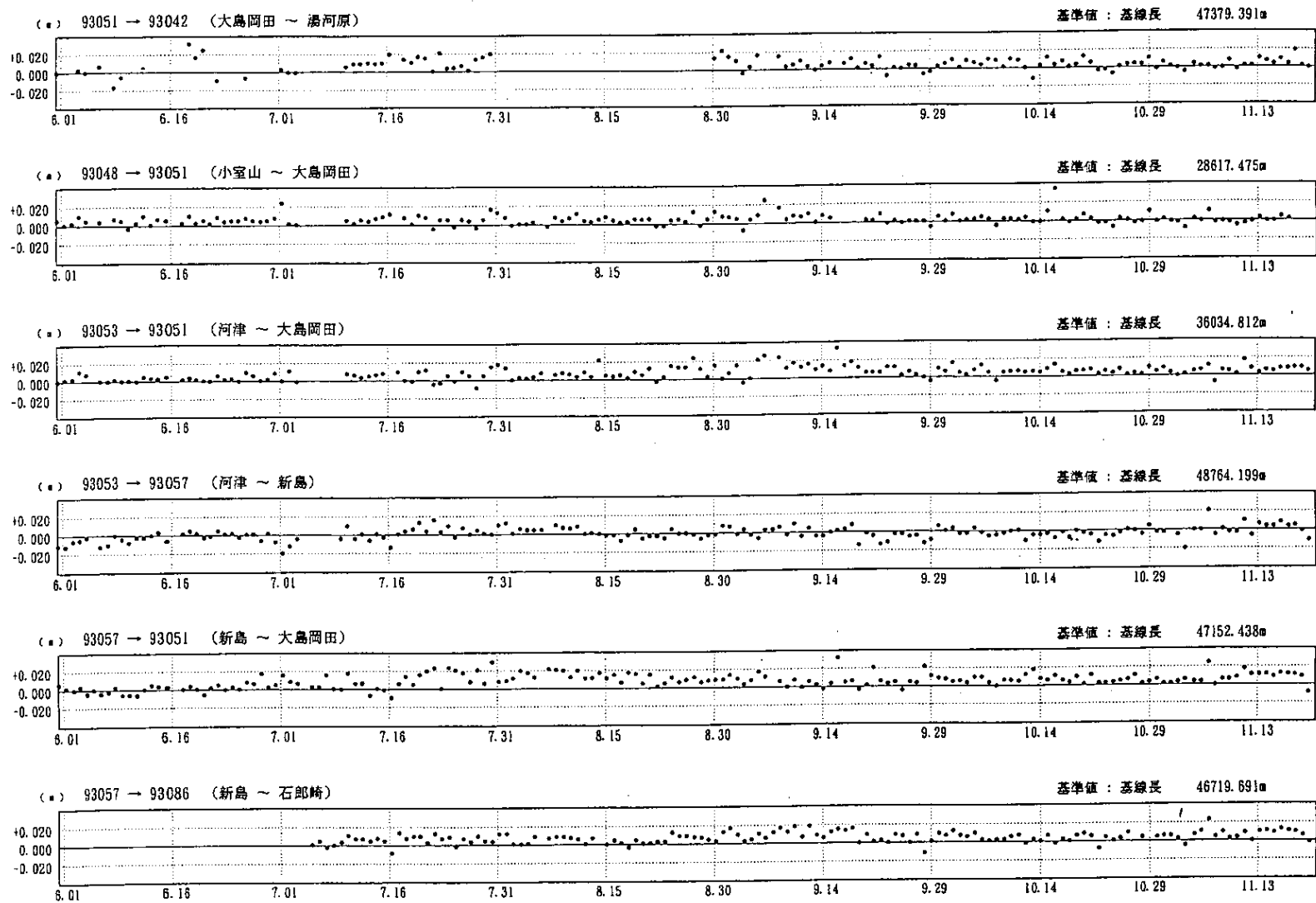
第4図 三宅島・神津島各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 4 Difference in monthly mean sea levels between the Miyakejima and Kozujima tide stations.



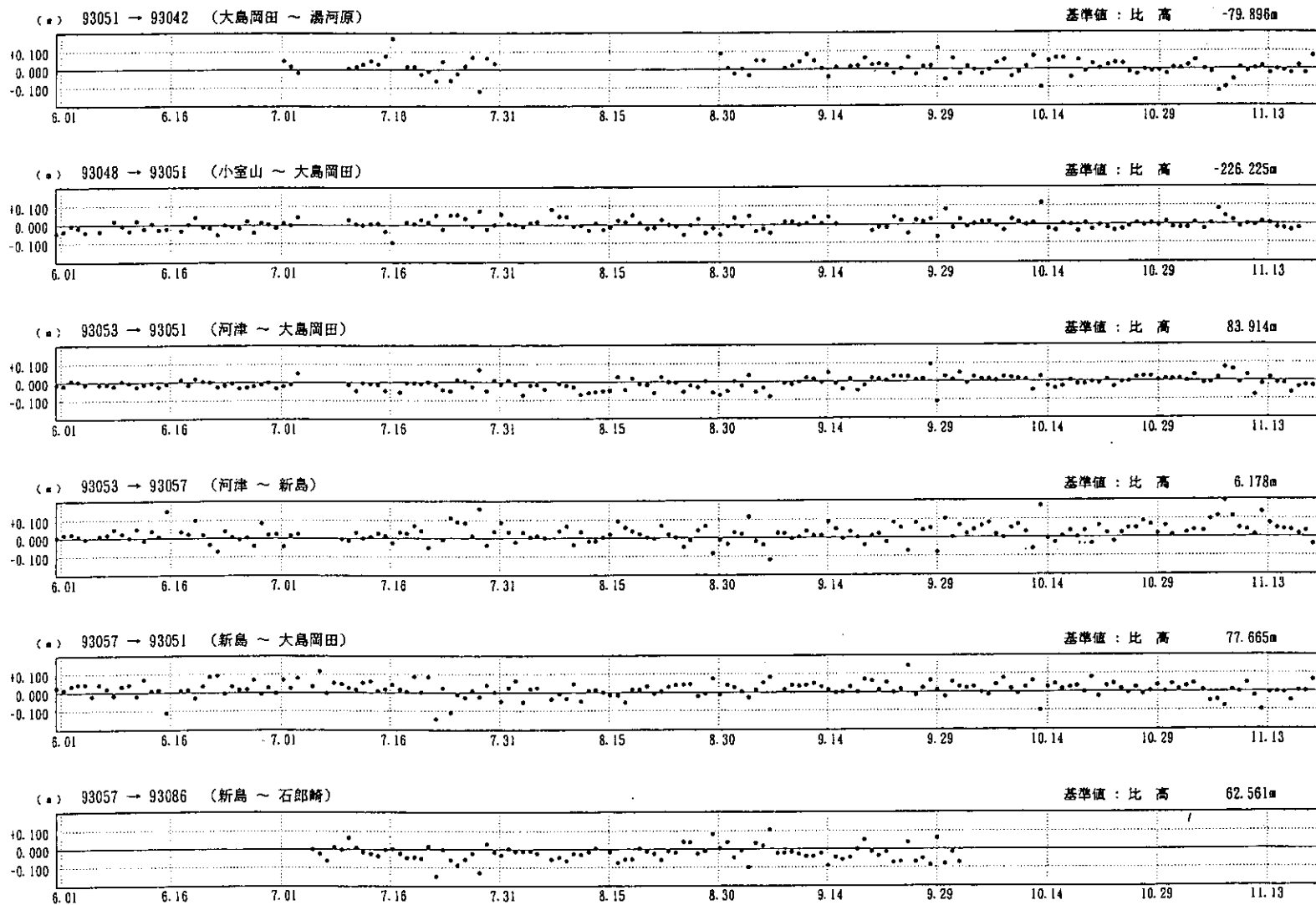
第 5 図 南関東・東海 G P S 連続観測網観測点配置図

Fig. 5 Location map of the continuous GPS observation stations in Southern Kanto and Tokai areas.



第 6 図 伊豆半島及び伊豆諸島の各観測点間の距離変化

Fig. 6 Distance changes between stations in the Izu peninsula and Izu islands.



第7図 伊豆半島及び伊豆諸島の各観測点間の比高変化

Fig. 7 Height changes between stations in the Izu peninsula and Izu islands.